



# リスクマネジメント人材開発プログラム 【Ver.1】

人と組織の**価値創造**のために



**MA**ximize・**NA**vigate・**GE**nerateを徹底サポート

代表 人材総合コンサルタント・研修トレーナー

眞下 仁 (Hitoshi Mashimo)

[mashimo@hm-consul.co.jp](mailto:mashimo@hm-consul.co.jp)

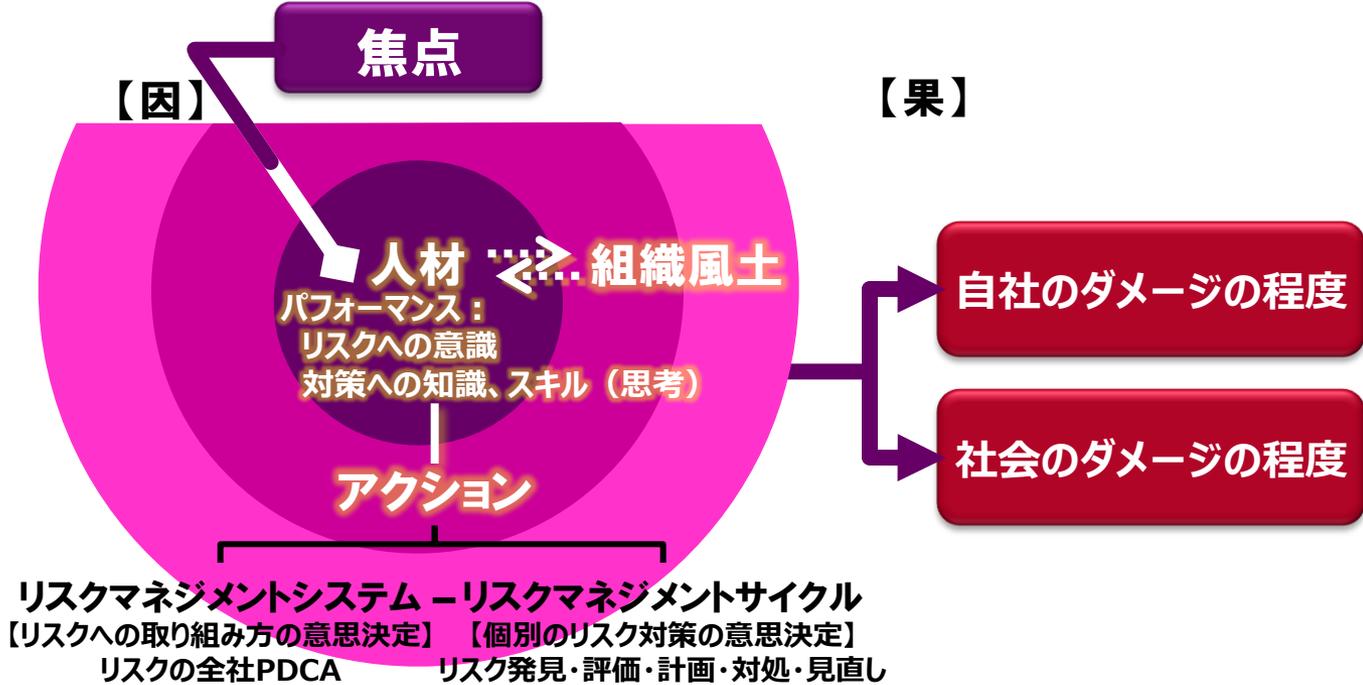
[www.hm-consul.co.jp](http://www.hm-consul.co.jp)

# コンセプト

## ■検討の趣旨

### リスクマネジメントの起点： 人材・組織風土の検証とレベルアップ

リスク対策の立案、対応策実施の起点で、自社及び社会へのダメージの程度を左右する原点を「人材と組織風土」と捉えます（人材と組織風土は相互に影響）。このプログラムでは、リスクマネジメントの優劣を決める真因 = 人材についてのあり方を検証、更にはレベルアップすることを趣旨とします。



## ■検討の背景

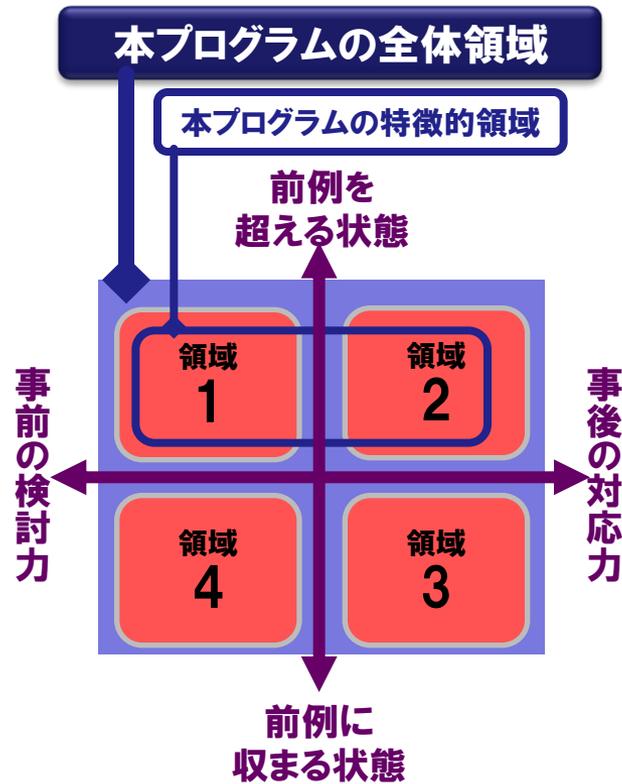
- 各種の法令やガイドラインに準じて自治体・企業等がリスクへの対策を講じても「ある結論が永遠に通用することはあり得ず、継続的なレベルアップ」が必要になることはリスクマネジメントの前提と言えます。
- 特に3.11震災で、不測事態への脆弱さや過信が露呈されたことは、その象徴と言えるでしょう。
- リスクマネジメントの充実を図るためには、深い思考による知恵を通じてリスク対策のレベルアップを繰り返す人材の意識とスキル、更には、極力多くのメンバーの参画による知恵の出し合いの風土が原点として必要となると考えます。
- 私たちは、自治体・企業等の組織、延いては社会全般のダメージをゼロにアプローチさせる人材の必要性から「リスクマネジメント人材開発プログラム」の検討へ着手しました。

# コンセプト

## ■本プログラムの位置付けと成果

このプログラムでは「前例の有無」、「事前検討と事後対応」の関係からリスクマネジメントに要する領域を4つ（下記参照）に区分し、その全領域をカバーします。

### ●本プログラムの領域



※強化順位の高いリスクマネジメントに取り組むためには、高い人材要件（レベル）を要する

### ●人材の要件（例）

- 対策遂行能力 ○… ○…
- 問題解決能力 ○… ○…
- 意思疎通能力 ○… ○…
- 対人関係能力 ○… ○…
- 個人特性 ○… ○…
- 専門知識 ○… ○…

本プログラムによる強化対象

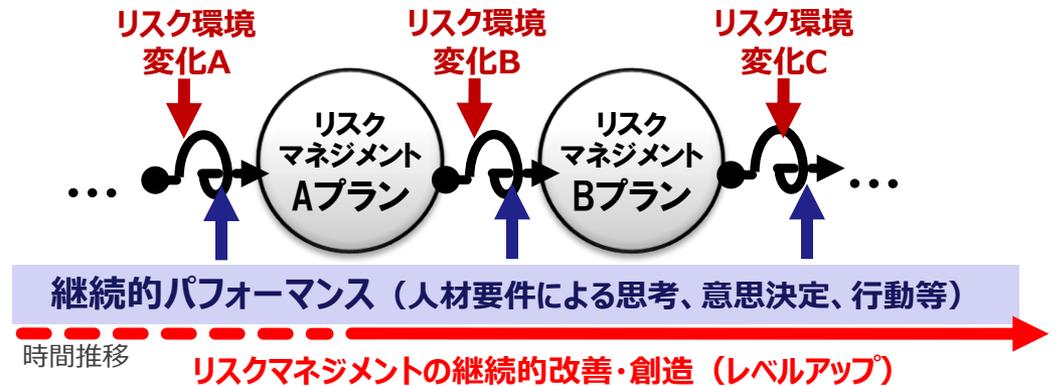
## ■4領域と人材要件

-プログラムでは4領域をカバーできる人材の要件を設定します（人材アセスメントのディメンションに該当）。**：定例会・分科会等で検討**

## ■最終成果

-究極の目的は、左記領域1、2までも満たす人材の開発を行い、その人材の継続的パフォーマンスによって自治体、企業のリスクマネジメントの継続的な改善・創造につなげることをねらうことです。

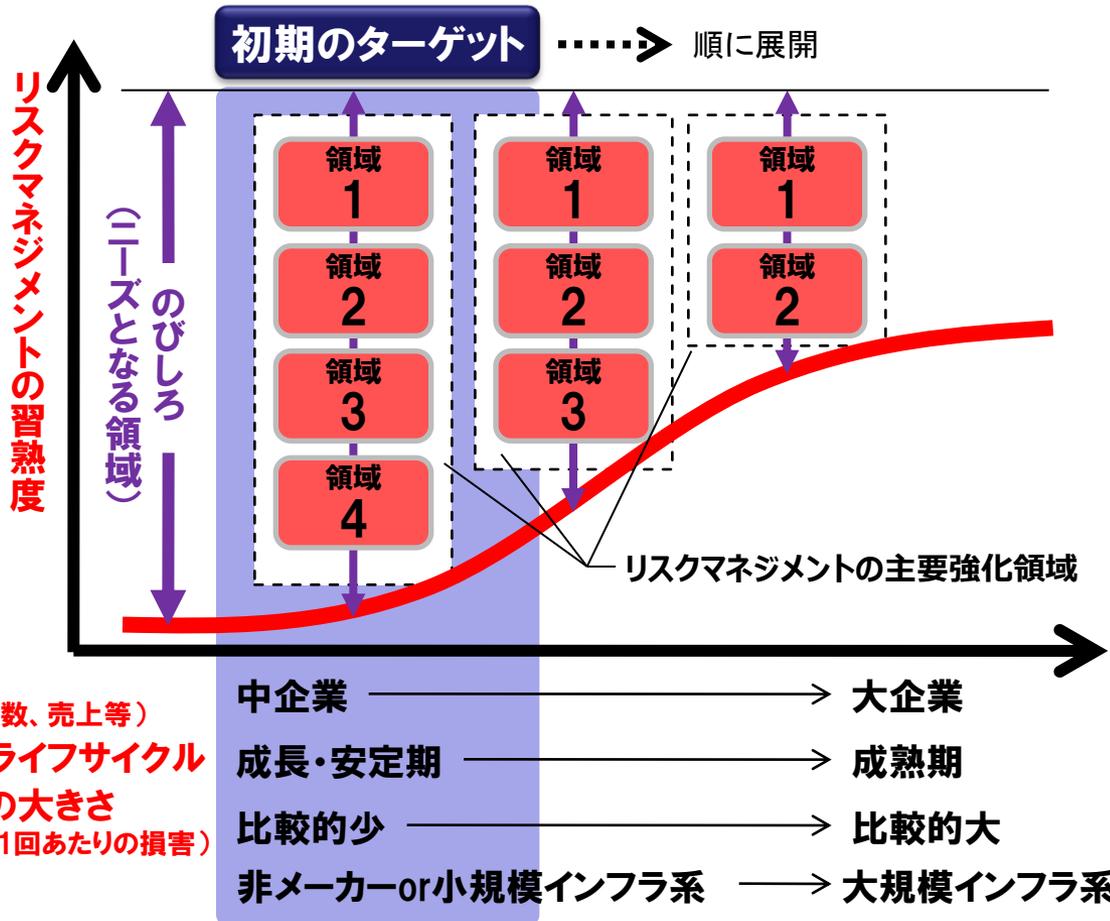
### ●継続的改善・創造への成果



# ターゲット & マーケティング4Ps

## ■ターゲット(案)

領域3、4も充実を要する企業を優先して開拓し（母数が最も多いと想定される）、本プログラムが安定するにつれ、より難度の高い領域1、2に特化したサービスへと徐々に転化します。



## ■展開の考え方

### ○協会のSWOT (私見) と対策案

内部	外部
<b>[S]</b> ケースメソッド ファシリテーション力 営業・販売チャネル	<b>[O]</b> リスクへの 社会的意識 の高揚
<b>[W]</b> リスクマネジメント のノウハウ	<b>[T]</b> 競合乱入
リスクマネジメント 専門機関 とのアライアンス	ケースメソッドの 強みの徹底活用 競合とアライアンス ケースの強みの活用

- 協会はケース開発及びファシリテーション力の強みを徹底活用し、領域1、2までカバーできるプログラムを提供します。
- リスクマネジメントのノウハウは、リスクマネジメントの専門機関との提携によりカバーし、また競合とはじめから提携し、協会からは独自の強みを提供し、提携する競合からは協会にない強みを享受される形で、相互補完しながら本プログラムを展開します。

# ターゲット & マーケティング4Ps

## ■1/4Ps: プロダクト(案)

プログラムは、「アセスメント」、「(リスクマネジメント) 知識研修」、「ワークショップ」の組み合わせ(パッケージ)により構成され、クライアント様のニーズにより選択して実施します。

### リスクマネジメント 人材開発プログラム(パッケージ)

#### アセスメント

※実施: 協会



(例)

- **グループ討議**  
 テーマA: リスク対策ミーティング  
 テーマB: 緊急事態ミーティング 等
- **インバケット**  
 テーマA: リスク発見と対策  
 テーマB: リスクマネジメント社内啓発  
 テーマC: 対策の経営提言、他部門巻き込み  
 テーマD: クライシス発生への対応 等
- **対人演習**  
 テーマA: 対ステークホルダー  
 テーマB: 対社内 等
- **分析・発表**  
 現状分析とリスク対策の立案 等

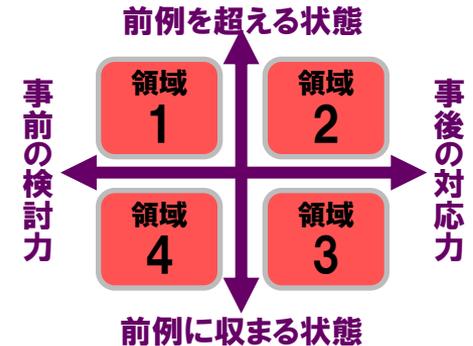
#### リスク マネジメント 知識研修

※実施: 提携機関

- (例)
- **リスクマネジメントの考え方**  
 JISQ2001etc 概念  
 リスク発見、評価、対応計画...  
 イベントツリーの作成方法 等
  - **リスクマネジメントの実務**  
 組織体制  
 マニュアル 等

#### ワークショップ

※実施: 協会  
or 協会と提携機関



(ワークテーマ例)

※4つ領域に沿い、その企業の実対策を抽出

- **領域4** リスクの洗い出し  
対策立案 等
- **領域3** 事態別対策立案 等
- **領域2** 不測事態想定(網羅的抽出)  
対策立案
- **領域1** 不測事項想定(網羅的抽出)  
現行不備事項抽出  
対策立案 等